

「いつもと違う」奈良マラソン2021について

奈良マラソン実行委員会 事務局長 野田康彦氏

火曜午餐会10月第1例会を5日、当部5階大会議室にて開催した。古都奈良の冬の風物詩として2010年から10年にわたり親しまれてきた奈良マラソン。講師の野田氏は「中止するのは簡単だが、奈良マラソンの意義を考えると、コロナ禍ではあるが、安全対策を徹底して、開催すべきだと考えている。そのための様々な取組みを知って頂きたい」と語った。講演要旨は次の通り。

開催趣旨と歴史

「平城遷都1300年祭のフィナーレを飾るイベントとして、平城宮跡をはじめとした県内各地の歴史、文化の魅力を全国へアピールし、観光客の誘客促進をするとともに、生涯スポーツの振興と郷土愛の醸成を図ることを目的とする。」という開催趣旨は今も変わらない。この10年間には、東日本大震災復興支援として義援金を募った他、積雪や衆議院選挙投票日など予想外の事もあったが臨機応変に対応してきた。

奈良マラソン2019まで

毎年12月第2土・日曜に開催。土曜日に3kmジョギング1,500人と翌日の受付、日曜日にフルマラソン12,000人、10km 4,000人の合計17,500人のランナーが参加。インターネット受付だが、フルマラソン県民枠2000人は7～8分で、一般枠も30分～40分で定員に到達する。マラソンサイト「ランネット」では、「観光名所とセット」「おもてなし」「自然満喫」等で高評価を受け、毎年マラソン100撰に選ばれている。

流行のキャラクターの格好をしたユニークランナーや、有森裕子さんをはじめ多彩なゲストも参加。ぜんざい、素麺、大和茶、葛湯、足湯など、奈良ならではのおもてなしも人気がある。

受付、手荷物預かり、会場・沿道整理、給水活動など、4,000人以

上が地域住民、学生、企業、団体からボランティアで参加。救護体制では、有志の医師、看護師、AED隊、看護学生等が支える。また、スポンサーとして、2019年大会では県内企業を中心に119社から支えて頂いている。

海外からは2019年、15か国・地域648名が参加、台湾マラソンと友好交流し双方に選手を派遣している。奈良マラソンEXPOでは、名産、グルメ、スポーツ用品販売や音楽・トークショーに2日間で85,000人が来場。紙コップはトイレトイレットペーパーにリサイクルし、トイレを開放して下さっているお店等に御礼に渡している。

2019年大会で、大学の研究室が参加者アンケートをもとに推計した経済波及効果は、奈良県外約23

億5,500万円、奈良県内約11億4,200万円であった。

奈良マラソン2020

コロナ禍で、奈良マラソンは中止したが、「奈良マラソン～2020年のRUN～」として、ランニングやスロージョギング体験会等を6回開催した他、有森裕子さん、斎藤浩哉さんを招いての「トップアスリート講演会」、短歌コンテスト表彰式、1/10奈良マラソン、リレーマラソンを実施し、ランナーのモチベーションを維持した。

奈良マラソン2021

新型コロナウイルス感染症の今後の状況が見通せない中、今春に



は、感染症対策を徹底した上で、可能な規模の大会開催を目指す動きが全国的に広まっていた。奈良マラソンにおいても、秋以降、ワクチンの一般接種がかなり進むことが見込まれることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを策定し、ランナー、スタッフ、ボランティアの感染症対策を徹底したうえで、十分な身体的距離を確保した主催者キャパシティの上限と考えられる定員8,000人のフルマラソン種目を開催することが可能と考えた。

規模縮小の大会であっても、10年間にわたって全国のランナーをはじめ、地域住民、関係者の皆様に愛され支えられてきた奈良マラソン復活への第一歩、また、一年以上に及ぶコロナ禍で閉塞感が濃くなる中、観光都市・奈良の安全性を証明し、活気を取り戻す第一歩

を踏み出すという奈良マラソンの開催意義は大きい。全国のランナーが安全に参加でき、地域住民が安心して迎えられる大会運営を目指し、引き続き、大会開催当日まで課題の検討を行っている。

「いつもと違う」奈良マラソン2021

①マラソン種目のみで8,000人（主会場のスペースを最大限使用してスタート前整列、従来40cm間隔→1.5m間隔）②日曜日のみ開催③参加料10,000円→16,000円（参加料収入減、協賛金減、コロナ対策費増）④ランナー・ボランティア、スタッフ等、関係者全員が新型コロナウイルス感染症対策を徹底（体調・行動管理、マスク着用、手指消毒など）⑤参加賞としてネックゲイター、Tシャツ、

アームバンド（マスク・ペン型消毒スプレー収納可能）⑥給水は紙コップにフタ、給食は個包装⑦EXPOは中止し、スポンサーブースのみとし、飲食なし⑧EXPO会場を、短時間で8,000人のランナーを検温する巨大検温場に⑨参加者以外の入場禁止⑩沿道での応援自粛（特に密集、声援、接触、飲食物提供）

こうした取り組みで、ランナーだけでなく、家族、同僚にもご協力いただく事がコロナ対策に通じると考えている。沿道での応援は自粛して頂くため、応援メッセージを事前募集し、コース沿道に掲示し声のない声援を送る事を検討している。

このように、様々な感染対策を徹底して安全な奈良マラソンを開催しますので、どうぞご支援下さいますようお願い致します。